

成果の説明書

(氏名) 井上 真由美	(学部) 経済学部
1 重要事項	
【研究活動】 (1) 渋沢栄一の高等商業教育機関への関わりについての調査・研究 渋沢栄一の東京高等商業学校への関与およびその背後にあった商業教育思想に関する論文を執筆した。また、渋沢栄一と国士館の関係についてのコラムも執筆した。それぞれ 2019 年に発刊予定の本に収録される予定である。 (2) 地域科学研究所の製造業プロジェクトにおける調査と報告 地域科学研究所のプロジェクト（地域製造企業の研究）の一環として、地球環境浄化材料・生活福祉関連材料の開発と普及を目的に事業を行う（株）環境浄化研究所の本社・上海事業所・中国取引先企業へのヒアリング調査を行った。 今年度の 3 月 20 日に行われた第 4 回ぐんま地域経済研究会において、上記の調査結果を報告した。	
2 その他の事項	
【教育活動】 (1) 産業集積地の存続要因に関する研究、同集積地の企業・支援機関の訪問（ゼミ活動） 昨年に引き続き、9 月 17 日から 18 日にかけて、新潟県燕三条の金属加工企業の集積地に関する調査を行った。今年度は集積地内の企業だけでなく、支援機関（燕市磨き屋一番館）にも訪問し、その事業内容の説明を受けるとともに、研磨技術の体験学習を行った。 (2) 地域活性化に取り組む経営者の講演会（ゼミ活動） 11 月 15 日に群馬県の川原湯温泉で 300 年以上の歴史を持つ老舗旅館を経営する樋田勇人氏を迎え、グローバル化に影響を受けつつある旅館業の現状と展望、ならびに地域活性化のための取り組みについて講演していただいた。 (3) 地域における商工会議所の役割に関する講演会（ゼミ活動） 1 月 17 日に高崎商工会議所の梅澤史明氏をお招きし、高崎商工会議所が取り組んでいる各種企業支援策の具体的な内容やその成果について講演していただいた。	
3 次年度以降の計画・抱負	
【研究活動】 2019 年度は、「高等商業学校の商業倫理教育」に関する調査研究を続ける計画である。具体的には 4 つの官立高等商業学校の教育制度の類似性・関連性などに焦点を絞った研究を行いたい。	

また、(株)環境浄化研究所に関する調査については、2020年度の原稿執筆に向けて準備を進めてゆきたい。

【教育活動】

2019年度は、ゼミ活動の一環として社会的問題の解決に取り組む地域企業の訪問を考えている。